（第３号様式の１）

調査表（１）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 推 薦順 位 |  |
| (1)創意工夫の名称 |  |
| (2)創意工夫の功労者候補 | 1 | 住　所 |  | 最終学歴 | 　　　年 | 　　府 | 　　　学校　　　　科 | 卒業 |
| 　　県 | 中退 |
| 職　歴 |  |
| ふりがな氏　名 | 　　　　　　 | 　　　年　　月　　日生 |
| （満　　歳） |
| 2 | 住　所 |  | 最終学歴 | 　　　年 | 　　府 | 　　　学校　　　　科 | 卒業 |
| 　　県 | 中退 |
| 職　歴 |  |
| ふりがな氏　名 |  | 　　　年　　月　　日生 |
| （満　　歳） |
| 3 | 住　所 |  | 最終学歴 | 　　　年 | 　　府 | 　　　学校　　　　科 | 卒業 |
| 　　県 | 中退 |
| 職　歴 |  |
| ふりがな氏　名 |  | 　　　年　　月　　日生 |
| （満　　歳） |
| 4 | 住　所 |  | 最終学歴 | 　　　年 | 　　府 | 　　　学校　　　　科 | 卒業 |
| 　　県 | 中退 |
| 職　歴 |  |
| ふりがな氏　名 |  | 　　　年　　月　　日生 |
| （満　　歳） |
| 5 | 住　所 |  | 最終学歴 | 　　　年 | 　　府 | 　　　学校　　　　科 | 卒業 |
| 　　県 | 中退 |
| 職　歴 |  |
| ふりがな氏　名 |  | 　　　年　　月　　日生 |
| （満　　歳） |
| 　 勤務する工場、(3) 事業所、個人企　業または商店等 | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 事業内容 |  | 資本金　　　万円 | 従業員数 | 　　名 |
| (4)連絡場所等  | 担当者 |  | 電話 |  |
| ＦＡＸ |  |
| 連絡場所 |  | Ｅメール |  |
| (5)創意工夫を　実施した者 |  | 住　所 |  |
| (6)考案の場所 |  | 考案年月日 |  |
| (7)実施の場所 |  | 実施開始の年月日 |  |
| (8)本社所在地 |  | (9) 既往にお　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ける受賞の事実 |  |

（記載上の注意）

１．調査表は、手書きで記入の場合は必ず黒インク、又は、黒ボールペンを使って記入して下さい。

２．職歴は、入社年月日及び現職名とその就任時年月日を記入して下さい。

３．既往における受賞の事実は、自社内表彰制度も含めて、表彰名称、受賞年月日を記入して下さい。

調査表（２）

（第３号様式の２）

|  |  |
| --- | --- |
| (10)創意工夫の説明 | (1)　何に関する創意工夫か |
| (2)　創意工夫の目的 |
| (3)　創意工夫の要点（１００字程度。最終審査の資料として使いますので、簡潔、明瞭に御記入ください。） |
| (4)　従来のものの欠点並びにこの創意工夫の優れた点 |
| (5)　その他（他の項で説明できなかった事項） |
| (11)　創意工夫の実績　 従来のものに比　 べ好影響をもた　 らした事実 | 事務能率の促進作業能率の向上製品の品質改善コストの引下げ販売の増進未利用資源の活用作業上の事故防止公害の防止消費生活の向上等について記入のこと。 | ※　創意工夫を行うことによって得られた成果・実績等をなるべく数値で説明してください。数値で説明できないものがある場合は、その内容等を説明してください。 |
| (12)　現物の写真・図面 |

共同考案分担調書

１．分　担　表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 貢　献　度 | 氏　　名 | 各自の創意工夫の内容及び箇所 |
| １ |  |  |
| ２ |  |  |
| ３ |  |  |
| ４ |  |  |
| ５ |  |  |

注）（１）貢献度の高い順に記入して下さい。

（２）考察の内容については、それぞれの果した役割が明確となるよう、できるだけ具体的に記入して下さい。

２．京都府では本表彰の受賞者のなかから、特に優秀な者を、文部科学大臣表彰候補者として推薦していますが、表彰枠が設けられているため、多人数の共同考察については、考案者すべてを推薦することはきわめて困難となります。ついては、上記考案者のうち文部科学大臣表彰候補者として、最も適当と思われる者（３名）を記入願います。

（１）

（２）

（３）